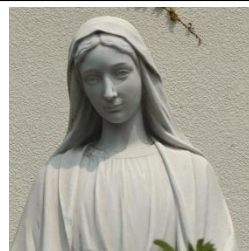


よきおとずれ

カトリック釧路教会だより

第 31 号 聖母被昇天の祭日（2026 年 8 月 15 日）発行



叙階 50 周年を迎えて 「ありがたい！」

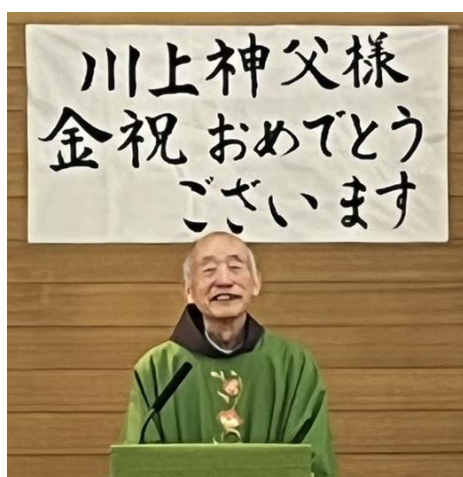
ヨアキム 川上 剛 神父

私は一日の終わりに月に一回でも多く神に感謝して寝ることが出来たらと思い、教会の祈りの「寝る前の祈り」を個人的に大切にしてきました。続けるのは至難の業、途中で途切れることもありましたが何とか続いています。

ところで、司祭金祝のテーマで執筆を依頼されて、改めてこれまで寝る前の祈りで振り返りと沈黙の中で体験した、神の思いと人の思い、そして神の道と人の道の天と地ほどの違いとその不思議さに本当に驚いているところです。たとえ口では、召命のはじめから今まで多々あった出会いのエピソードを控え目に語れたとしても。

イザヤ書の次のみ言葉は、これまで五十年の修道司祭としての神からの招きは私の思惑と働きと異なり、それを超えていた事実をはっきり示しています。この事実を素直に受け入れて初めて叙階 50 年の今の私の存在に意味があることを思い知らされているところです。

「わたしの思いは、あなたたちの思いと異なり、わたしの道はあなたたちの道と異なると主は言われる。天が地を高く超えているようにわたしの道は、あなたたちの道をわたしの思いはあなたたちの思いを、高く超えている。（イザヤ書 55 章 8～9 節）



この意味で五十年を経て今言えるとしたら、それは唯々^{ただただ}「ありがたい！」の一言です。「有り難い！」の方が私にはピンとくるのですが・・・、（在るのが難しいと言う意味で）。その「ありがたさ」をこれからも心に留め、司祭として皆さんと共に生きるにあたり、一つのエピソードを紹介して終わりたいと思います。

だいぶ前の話しになりますが、司祭たちの教区レベルの研修の集いで、ある大学の心理学の先生が開口一番 “神父さん達はよくしゃべるけど、話を聞くのは下手ですね！”。さすがにこれには参りました。一瞬の沈黙があって拍手喝采。“その通り！” 言い分は誰にもありませんでしたから。話を聴く、ここに神の思いと神の道をあゆむ司祭の秘訣があるのだと

その時強烈に肝に銘じた次第です。八十四歳、残りの日々を忙しさにかまけて一人で頑張らないで聖霊の助けのもとにすべての人に奉仕できたらと念じ、今夜も寝る前の祈りの中で皆さんひとり一人の祈りと支えに感謝しながら・・・。

神の母聖マリア、われらのために祈り給え、アーメン



受洗の恵みにあずかって

アンジェラ 田中 美穂

私をキリスト者として導いてくださった初めの一步は、根室カトリック幼稚園に通っていたころから始まります。茶色の服を着て腰の紐をくるくる回しながら近づいてくる外国の方は誰？…。とても印象的でその光景は今でも鮮明に覚えています。その後、その園で実習し、保育士になることができ、根室、北見、紋別、留辺蘂のカトリック学園で16年間勤めさせていただきました。子どもたちと毎日、お祈りし季節の聖歌を歌い、心一つに聖劇を完成し分ち合えた時間は私の宝物です。

また、日々の生活の中で悩みから抜け出せなくなると神父様を訪ねました。話を聴いてくださり、お御堂で祈りを捧げ、希望をもってという言葉の背に家路についていました。ミサにも参加させていただき隣りに座ったおばあさんのお祈りするしわしわの手、アイコンタクトで世界中の方々と「主の平和」と挨拶する瞬間に心落ち着き、やすらぎます。

洗礼を受けてからがスタートと思っています。聖書を学び、キリストの教えに従って自分自身の生活を見直しながら暮らしていきます。一步を踏み出していくことを大切に努めていきたいと思います。よろしくお願い致します。

(6月19日記)



2026 年度カトリック釧路教会運営委員会

よろしくお願いいたします。

運営委員長	勇 まゆみ	副委員長	市村 均
典礼・宣教部	責任者 越田 こずえ	副責任者	石田 千晶、亀岡 延枝コグト
広報・行事部	責任者 北尾 直美	副責任者	渡辺 美代子、川島 泰文
財政部	責任者 若松 邦子	副責任者	小川 晴清、菅原 千枝子
アンナ会	会長	菅原 千枝子	



運営委員長あいさつ

テレジア・ベネディクタ 勇 まゆみ

このたび、当教会の運営委員長を拝命いたしました^{いさみ}勇と申します。

前任の北川さんには、8年という長きにわたり、教会のために多大なるご尽力を賜りました。この8年の間には、新型コロナウイルス感染症の流行という未曾有の出来事があり、信徒の高齢化や人数の減少も進みました。これまで共にミサにあずかり、親しく交わりを重ねてきた方々が、入院や施設への入所、あるいは帰天され、教会でお会いできなくなったことは、誠に寂しく、残念なことです。また、教会を支える奉仕者も少なくなり、掃除をはじめ、さまざまな活動についても、その在り方を見直す時期を迎えています。



そのような中、選考委員会から運営委員長のお話をいただいた際には、その責任の重さに一度は辞退しようと考えました。しかし、教会は一人の力で支えるものではなく、神様のお導きのもと、信徒の皆様がそれぞれの賜物を持ち寄り、力を合わせて歩んでいく共同体です。そのことをあらためて思い起こし、皆様とともに歩ませていただく思いで、お引き受けする決心をいたしました。

これから先も決して平坦な道ではないと思います。しかし、一人ひとりが互いに支え合い、祈り合いながら「ともに歩む教会」を築いていきたいと願っております。

「わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮される。」
(二コリント 12:9)。このみ言葉を心に刻み、皆様のお祈りとお支えをいただきながら、主とともに歩んでまいりたいと思います。

川上神父様、叙階 50 周年おめでとうございます

7月12日、ヨアキム川上剛神父様の司祭叙階50周年を記念して、金祝の記念ミサと祝賀会を行いました。祝賀会では60名ほどの参加があり、美味しい食事をともにいただきながら楽しいひとときを過ごしました。

主の呼びかけに応え、50年間にわたり主の愛と福音を宣べ伝え、多くの人々を導いてくださったことに深く感謝いたします。これからの歩みの上にも、神の豊かな恵みと健康が注がれますよう、お祈りいたします。



「あなたの出で立つのも帰るのも主が見守ってくださるように。

今も、そしてとこしえに。」(詩編 121 : 8)

編集後記

編集作業中に、熊本地震のニュースが飛び込んできました。2016年にも大きな地震を経験された地域だけに、「どうして熊本ばかり…」とインタビューで語る被災者の方の言葉に、胸が痛みました。この猛暑の中での避難生活は、心身ともに大変厳しいものと思います。

被災されたすべての方々が一日も早く安心して生活を取り戻すことができますよう、マリア様の取り次ぎを願い、お祈りいたします(M. I)。

カトリック釧路教会 〒085-0018 釧路市黒金町 12 丁目 10

TEL 0154-22-5823

FAX 0154-22-5832

教会だより 編集：行事・広報部